



小学生・中学生の皆さんへ

2023年[令和5年]

発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報 Jr

12.15
No.158

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>

ARAKAWA KUHO JUNIOR

ジュニア



梅の湯

UMENO-YU



見守り支援員派遣銭湯

荒川区

あらかわには
銭湯がいっぱい！

銭湯に行ってみよう！

SENTO

寒い日は、温かいお風呂に入るのが一番。そこで今回、尾久宮前小学校のジュニア記者が、西尾久にある銭湯・梅の湯を訪問。店主の栗田さんから、銭湯を利用するときのポイントを教えてくださいました。また、普段は見ることのできない銭湯の裏側も紹介します。銭湯に行ったことがある人もない人も必見です！

問い合わせ 産業振興課 内線468

次は1月に発行する予定です

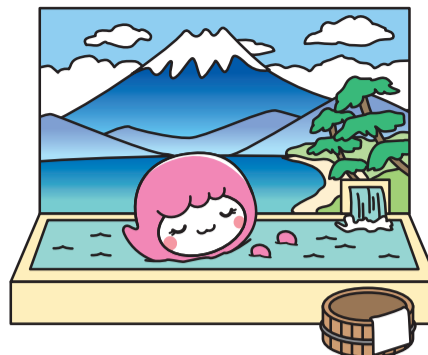
銭湯のことを 知ろう。学ぼう。

銭湯って
どんなところ?

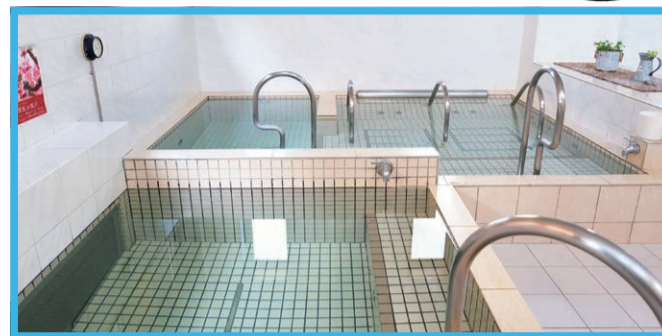
銭湯に行く メリットってなんだろう?

銭湯へ行く最大のメリットは、深い浴槽のお湯につかれることです。浴槽が深くなるほど水圧は大きくなるため、血流が促進され、冷え性などの改善につながります。また、銭湯のお湯は一定の温度に保たれているので、銭湯の空間が蒸気に満ちて常に温まっています。家のお風呂よりも温まりやすく、湯冷めしにくいのも特徴です。

梅の湯店主の栗田さんが、
開店前や開店後のお仕事、また銭湯での
マナーについていろいろ教えてくださいました。
読んだら銭湯に行きたくなるはず!



▲普段から銭湯を利用しているジュニア記者が、梅の湯のお仕事を体験します



▲梅の湯には、毎日違う種類のお湯が楽しめる薬湯や、疲労回復効果が期待できる高濃度水素風呂、露天風呂などがあります



▲レトロな雰囲気のマッサージチェア。湯上がりの温まった体をほぐし、リラックスできます



創業当初から飾られているカルタ絵は、梅の湯の名物。区内の銭湯には、宮造りの外観や浴室の壁画など、それぞれ特徴があります。お気に入りの銭湯を見つけたらぜひお越しください

開店前は 何をしているのかな?

(梅の湯の場合)

梅の湯では、毎日正午ごろから開店の準備を始めます。いすや桶の掃除、ボディソープなどの詰め替え、更衣室やロビーのモップがけなど、やることがたくさん。午後3時の開店までに全部終わらせよう!



掃除!



備品の補充!



▲洗った桶は、お客さんが使いやすいよう洗い場にひとつずつ設置します。落とさないよう慎重に!



お湯張り!

▲銭湯の裏にボイラー室があり、ここでお湯の温度調節をしています。昔はバルブを手動で調整していましたが、現在はお湯張りから温度調節まで自動で行います

いよいよ開店!

▲お客さんから入浴券を受け取り、案内します。飲み物やオリジナルグッズの購入なども全てこのカウンターで対応するので、開店後も大忙し!



▲ロビーでは牛乳やジュースなどが販売されています。自由に読める漫画も大人気。入浴後にロビーでくつろぐのも銭湯の楽しみのひとつです

銭湯のマナー

覚えておこう!
これだけ!

銭湯に行ったことがある人
ない人も必見!

銭湯には子どもから大人まで、たくさんの方が訪れます。みんなが快適に利用できるよう、混雑しているときは洗い場やロッカー、ロビーの休憩スペースをゆずり合って使うなど、最低限のマナーを守りましょう。わからないことがあれば、カウンターにいる番頭さんや周りの大人にたずねてみよう。

靴は下駄箱に

▲梅の湯は1階に靴を預ける下駄箱があり、2階にロビーとお風呂があります。下駄箱にしっかりと鍵をかけてから2階へ上がりましょう



服を脱ぐのは脱衣場で

▲早くお風呂に入りたいからといって、ロビーで服を脱ぎ始めるのはマナー違反。必ず脱衣場で服を脱ぎ、ロッカーに入れてから入浴します



これも大切だよ!

- 湯船に入る前かけ湯をして体を洗おう
- 湯船にタオルを入れないで
- シャワーなどの湯しぶきが隣の人にかからないように
- 脱衣場に戻るときは体をよく拭こう

大きな声で騒がない

▲お風呂に入りながら友達や家族とおしゃべりをするのはOK! でも大きな声で騒ぐなど、ほかのお客さんの迷惑になる行動はしないように



ホッと一息



お風呂から上がったら、ロビーでゆっくり。ほかのお客さんとお話するのもいいね!

あらかわの銭湯に行こう!

あらかわ銭湯マップを参考に、あらかわにある銭湯に行ってみよう。季節湯のほか、さまざまなイベントもあります。

季節湯スケジュール	
12月22日(冬至)	ゆず湯
令和6年1月(三が日)	正月湯

▲冬に入ると風邪を引かないといわれているよ!

▲1年の始まりを銭湯でサッパリと迎えよう。

▲ロビーでは牛乳やジュースなどが販売されています。自由に読める漫画も大人気。入浴後にロビーでくつろぐのも銭湯の楽しみのひとつです

▲銭湯の裏にボイラー室があり、ここでお湯の温度調節をしています。昔はバルブを手動で調整していましたが、現在はお湯張りから温度調節まで自動で行います

梅の湯がら皆さんへ

梅の湯は1951年の創業以来、あらかわの方々に親しまれてきた老舗の銭湯です。2016年にリニューアルをして、さらに利用しやすくなりました。家族や友達と一緒に、気軽に立ち寄ってください。

店主 栗田 尚史さん

▲営業時間
午後3時~翌午前1時 月曜定休
▲朝風呂>日曜 午前8時~正午
▲入浴料>大人(15歳以上)/520円
中学生(12歳以上15歳未満)/300円
小学生(6歳以上12歳未満)/200円
小人(6歳未満)/0円 サウナ/無料
※料金は全て税込です。

▲西尾久 4-13-2 ☎(3893)1695

▲荒川 梅の湯

▲他の詳しい情報はホームページをご覧ください。

銭湯の仕事を体験

ジュニア記者の体験記

▲ジュニア記者が桶洗いを体験しました。男湯と女湯それぞれに20個ずつ、合計40個の桶をひとつ残らずキレイに洗い上げます

▲洗った桶は、お客さんが使いやすいよう洗い場にひとつずつ設置します。落とさないよう慎重に!

▲薬湯の準備!

▲ジュニア記者が入浴剤を入れるお手伝いをしました

銭湯スロフィー

武藤 流星さん

銭湯歴は3歳ごろから現在まで。梅の湯の常連で、ジュニア記者の中でも最も銭湯歴が長い。お風呂上がりのアイスと漫画が楽しみ。

銭湯スロフィー

若松 歩貴さん

銭湯に来たのは約3年ぶり、梅の湯は今回が初めて。日替わりの薬湯が気になるので、また来たいと思っている。

銭湯スロフィー

松本 誠さん

銭湯歴は4歳ごろから現在まで。銭湯では友達とのんびり湯船につかりながらゲームの話をした後、ロビーでくつろいでいる。

Topics

日暮里道灌まつりが開催されました

室町時代に江戸城を築城した武将として知られ、荒川区にもゆかりのある「太田道灌」のイベント、「日暮里道灌まつり」が、11月11日、日暮里駅前イベント広場で開催されました。

当日は、太田道灌ゆかりの自治体・店舗などが集まり、特産品の販売や観光PRのほか、伊勢原手作り甲冑隊や紙芝居屋の三橋とらさんなどによるステージイベント、手作り甲冑の着付け体験が行われました。

また、あらかわの伝統野菜「三河島菜」を栽培している都立農産高等学校による三河島菜などの販売も行われました。



▲三橋とらさんによる紙芝居

荒川リバーサイドマラソンが開催されました

11月19日、「第30回荒川リバーサイドマラソン」が、荒川河川敷右岸の荒川区営少年運動場を主会場として開催されました。

当日は雲一つない秋晴れの下、小学生1年生から80代の方まで1100人以上のランナーが、2キロふれあいの部のほか、2・3・5・10キロのコースを走りました。

小・中学生も多く参加し、沿道からたくさんの応援を受けながら、完走を目指して駆け抜けました。



▲元気いっぱい走りました！



▲小学校女子高学年の部(3キロ)表彰式

中学生の部

初物に笑顔がたえぬスイカ割り
逆転の一打延びゆく秋の雲
ぼくの背よひまわりみたく高くなれ
スキップをまつりばやしにあわせけり

第四中学校	第一中学校	原中学校	第四中学校
2年	3年	3年	1年
成田はな	館知来	日野倫太郎	濱田侑依

小学生の部

扇風機声を出したらロボットだ
さくらんぼまつ赤に実のるふたごたち
なつやすみどきどきしたよきもだめし
セミしぐれ打てよ走れと応援歌

第九峡田小学校	第五峡田小学校	第四峡田小学校	第六日暮里小学校
4年	1年	6年	6年
秋元貴文	田中美弥乃	鈴木幸絆	猪鼻孝太郎

小学生の部・中学生の部の俳句入賞作品

優秀賞

令和5年度荒川区文化祭

荒川区は俳句のまちだよ

11月3日～5日に、令和5年度荒川区文化祭・俳句展示会(会場・町屋文化センター)が開催されました。

その中から、小学生の部と中学生の部の入賞者と作品を紹介します。(敬称略)

今昔ものがたり

日 [あらかわの歴史と伝説]

その148 あらかわの民謡①餅つき歌
～上野のお山でお餅つき～

今年も年末が近づいてきたね。年越しというとお正月のお節料理、鏡餅やお雑煮のお餅の準備があるよね。何々、ネット販売で予約したから大丈夫だって？今は通販やスーパーマーケットなどを利用する家が多いよね。昔は、お家でお節料理を作り、お餅もついたんだよ。お餅つきは年末の風物詩。今回は、江戸時代のお餅つきにまつわるお話だよ。

お殿様は寛永寺～東叡山領の村～ 江戸時代のあらかわは、日光道中(今のゴツ通り)や下谷通り(今の国道4号)沿い以外、農村だった。そして、村々のほとんどが上野の東叡山寛永寺の領地だったんだ。寛永寺は、江戸城の鎮護のため、比叡山延暦寺(滋賀県)に似せて建てられた徳川將軍家ゆかりの寺で、寛永寺のご住職があらかわの村人にとってのお殿様だったんだよ。当時の人々は、寛永寺を尊敬し、その領地であることを誇りに思っていたようなんだ。

上野のお山でお餅つき 毎年、暮れになると、日暮里・尾久・三河島・町屋の村人が寛永寺で

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

野執筆 野尻さん

お餅つきをする習わしになっていったん。お餅は、江戸幕府初代將軍の徳川家康さんをお祭りする神社、上野の東照宮にお供えたんだよ。『新修荒川区史』によると、つき方には村によって違いがあり、町屋は右、尾久は左回りに回りながらついたそう。村人たちは、名誉なことだと思い、こんな歌を歌いながらお餅をついたんだ。餅つきの作業のコネ・ツキ・ネリの三通りに歌い分けたそうだよ。

へ祝いめでたの若松様よ 枝も栄えて葉も茂る
へめでためでたが三ツ重なれば 庭に鶴亀五葉の松

へこれの館はめでたい館 鶴と亀とが舞い遊ぶ
へ門に門松内や姫飾り 神をいさめて年をとる
へ瀬田のから橋から金ぎぼし 水に映るはぜの城

結びは家康さんが関ヶ原の戦い後に比叡山の麓に建てさせた名城・膳所城(滋賀県)を称えた歌。寛永寺に護られた江戸城になぞらえたのかもね。メロディは分からなくなってしまったけど、あらかわの民謡として伝えていきたいね。

「江戸名所道戯尽」三十六浅草駒形堂(部分) (東京都立中央図書館所蔵)